

令和7年3月10日
石川県水産総合センター
内水面水産センター
担当者：増田、高橋
TEL：0761-78-3312

放流用カジカの採卵について

本県では、カジカ（通称ごり）は郷土料理の食材として親しまれており、内水面漁業協同組合等が、カジカの住みやすい川づくりや種苗放流による資源増殖の取り組みを行っています。

石川県水産総合センター内水面水産センターでは、この放流用カジカを種苗生産しており、現在、その採卵作業がピークを迎えています。

カジカの稚魚は、ふ化後4～5ヶ月間センター施設内で育成した後、約25,000尾を内水面漁業協同組合等に配布し、河川に放流される予定です。

この度、報道機関の皆様を対象に下記のとおり採卵作業の説明及び撮影の機会を設けます。

記

【採卵作業の概要】

日時：令和7年3月18日（火）10時から

場所：石川県内水面水産センター（加賀市山中温泉荒谷町ロー100）

内容：

- ・カジカの人工産卵床としてL型鋼を20基入れた水槽に、カジカの親魚を収容し、自然産卵させます。
- ・人工産卵床に産み付けられた卵を回収して、ひな段式的水槽に移し、ふ化直前まで管理します。
- ・ふ化までの期間は、積算水温（1日の日平均水温を毎日足した累積値）で決まり、積算水温が280～300℃に達するとふ化します。
- ・当日採取した卵は、4月中旬～下旬頃にふ化する予定です。また、採卵は4月下旬頃まで続きます。
- ・採卵総数は20万粒を目標としており、体重0.2g以上の種苗約25,000尾を7～10月に配布する予定です。



水槽に設置した人工産卵床



人工産卵床に産み付けられた卵



ひな段式卵管理水槽